

姉妹都市提携に意欲

倉吉市長 仏版映画舞台の町と

映画
遙かな町へ

倉吉ノスタルジー

倉吉市が舞台の映画『遙かな町へ』の撮影が進む中、同市の広田一恭市長は27日、原作漫画のフランス版映画の舞台となった同国の

ナントウアとの姉妹都市提携について「努力したい」と前向きな考えを示した。山根健資議員（やらいや）の一般質問に答えた。

質問で山根議員は、フランス人を対象にした日本語教室が市内に開設されたこ

とを説明しながら、「同国との交流が生まれる中で、映画が作られる」と、姉妹都市協定を提案。広田市長は「（日本版映画の）映画祭出品を通じて交流が深まれば」と前置きしながらも、「ナントウアの行政と意見

交換するなど、努力したい」と述べた。

ナントウアは、スイスとの国境に近いフランス中東部に位置する人口3千人規模の町。2010年製作の実写映画、仏版『遙かな町へ』の舞台になった。日本版の実写映画は現在、同市を中心に撮影が進められており、来秋の公開を前にフランスなど国際的な映画祭への出品が計画されている。

（井田慎一）